

登録コード	UAE01600	開講年度	2026						
授業題目	発達・教育心理学実習					担当教員	島田 英昭 他		
						副担当			
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期				
				授業形態	実習				
信大コンピテンシー	非該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					⇔	【授業の達成目標】		
	2 4 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 3 UAカリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学								
	【心理・長野臨床以外】心理学分野の高度な知識・技能を有する。					⇔	発達・教育心理学およびその関連分野に関して、心理学分野の高度な知識・技能を身につける。		
	【心理・長野臨床以外】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。					⇔	発達・教育心理学およびその関連分野に関して、量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を身につける。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を身につける。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を身につける。		
	【心理・長野臨床以外】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。					⇔	発達・教育心理学およびその関連分野に関して、多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を身につける。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を身につける。		
	【心理・長野臨床以外】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。					⇔	発達・教育心理学およびその関連分野に関して、人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を身につける。		
	【心理・長野臨床以外】心理学分野の地域中核人材・研究者として備わっているべき倫理観を有する。資格取得を目指すものは、さらに専門職としての法的義務や倫理についての知識を有する。					⇔	発達・教育心理学およびその関連分野に関して、心理学分野の地域中核人材・研究者として備わっているべき倫理観を身につける。資格取得を目指すものは、さらに専門職としての法的義務や倫理についての知識を身につける。		
	2 4 UAカリ・総人社・心理長野・臨床心理学								
	【心理・長野臨床】心理学分野の高度な知識・技能を有する。					⇔	発達・教育心理学およびその関連分野に関して、心理学分野の高度な知識・技能を身につける。		
	【心理・長野臨床】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。					⇔	発達・教育心理学およびその関連分野に関して、量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を身につける。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を身につける。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を身につける。		
	【心理・長野臨床】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。					⇔	発達・教育心理学およびその関連分野に関して、多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を身につける。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を身につける。		
	【心理・長野臨床】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。					⇔	発達・教育心理学およびその関連分野に関して、人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を身につける。		
	【心理・長野臨床】心理学分野の地域中核人材・研究者として備わっているべき倫理観を有する。資格取得を目指すものは、さらに専門職としての法的義務や倫理についての知識を有する。					⇔	発達・教育心理学およびその関連分野に関して、心理学分野の地域中核人材・研究者として備わっているべき倫理観を身につける。資格取得を目指すものは、さらに専門職としての法的義務や倫理についての知識を身につける。		
	2 6 0カリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 6 0カリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 5 0カリ・総人社・心理長野・発達・認知・人間科学, 2 5 0カリ・総人社・心理長野・臨床心理学, 2 3 0カリ・総人社・心理長野・臨床心理学								
	【心理】量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を有する。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を有する。					⇔	発達・教育心理学およびその関連分野に関して、量的・質的分析方法を身につけると同時に、地域・社会・経済の抱える課題について、課題解決に必要な情報を収集する能力及び収集した情報を適切に分析する能力を身につける。各領域の特徴を学び多面的に展開できる応用力を身につける。資格取得を目指すものは、心理に関する支援を要する者の心理状態を分析する力、心理学分野の知識・技能を相談及び助言に応用する能力を身につける。		
	【心理】多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力を有する。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を有する。					⇔	発達・教育心理学およびその関連分野に関して、多領域のステークホルダーを動員し、地域・社会の課題に対して主体的に取り組みながら、独創的な提案を行う力、問題解決に不可欠な総合的なシナリオを提示できる提案力身につける。資格取得を目指すものは、心理に関する効果的な支援を提案できる能力を身につける。		
(2)授業の概要	担当教員が提示する地域住民や外部専門家との関わりの機会からいくつか選択し、その機会に参加し、担当教員とのリフレクションを行う。								
(3)授業計画	第1回：課題1準備 第2回：課題1参加(1) 第3回：課題1参加(2) 第4回：課題1参加(3) 第5回：課題1リフレクション 第6回：課題2準備 第7回：課題2参加(1)								

(3)授業計画	第8回：課題2参加(2) 第9回：課題2参加(3) 第10回：課題2リフレクション 第11回：課題3準備 第12回：課題3参加(1) 第13回：課題3参加(2) 第14回：課題3リフレクション ※機会の種類については、年度ごとに担当教員が準備する。 ※進め方は機会の内容による。 ※授業アンケートを実施する。
(4)成績評価の方法	●以下を総合して判定する。 課題への取り組み状況（100%） ※評価割合は若干の調整を行うことがある。 ※発達・教育心理学実習に関する基礎的・応用的な知識や関心を評価する。 ●得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。
(5)成績評価の基準	【卓越している】発達・教育心理学実習に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考える力を総合して、極めて高い水準にある。 【かなり上にある】発達・教育心理学実習に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考える力を総合して、非常に高い水準にある。 【やや上にある】発達・教育心理学実習に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考える力を総合して、高い水準にある。 【その水準にある】発達・教育心理学実習に関する基礎的な知識をもとに、適切な情報処理を行い、論理的に思考し、数量的に思考し、自律的に考える力を総合して、一定水準にある。
(6)事前事後学習の内容	●授業内容について、書籍やネットなどで復習し、理解を深める。 ●この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。
(7)履修上の注意	心理学分野の学生を対象とする。
(8)質問,相談への対応	研究室在室時は随時質問、相談可能です。メールでアポイントメントを取ると確実です。 連絡先：hshimada@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	指定しない。
【参考書】	内容に応じて随時紹介する。